

第 4 4 回ユネスコ世界遺産委員会拡大会合について（概要）

1. 開催概要

期 間：2021年7月16日～7月31日

形 式：オンライン

2. 主な審議結果

（1）世界遺産一覧表への記載に係る審査

- 推薦書提出資産45のうち6件の取下げがあった。
そのため39件（うち3件は拡張申請）について審議され、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を含む34件（文化遺産29件、複合遺産0件、自然遺産5件）を新たに記載することが決定された。

この結果、世界遺産は総計1,154件（文化遺産897件、複合遺産39件、自然遺産218件）となった。【参考1、2参照】

※ 我が国から推薦した「北海道・北東北の縄文遺跡群」については、先史時代における農耕を伴わない定住社会及び複雑な精神文化とともに、定住社会の発展段階や様々な環境変化への適応を示しており記載が適切であるとのイコモス勧告に基づく決議案が速やかに決定された。併せて、現状で民間所有となっている土地について、公有化を進めることなどが勧告された。【参考3～4参照】

（2）資産の保全状況に係る審査

- 255件（うち56件は危機遺産）が保全状況審査の対象となった。
この中で議論された内容としては、①都市開発に関わるもの（「リヴァプール海商都市」（英国）、「ドナウ河岸、ブダ城地区及びアンドラーシ通りを含むブダペスト」（ハンガリー）等）、②来訪者管理等に関わるもの（「ホンジャ・アフメッド・ヤサウイ廟」（カザフスタン）、「ヴェネツィアとその潟」（イタリア）等）、③自然災害に関わるもの（「カトマンズの谷」（ネパール））④武力衝突に関わるもの（「コソボの中世建造物群」（セルビア）等）等が挙げられる。
- 審議された案件のうち、「リヴァプール海商都市」（英国）について、開発事業の結果、世界遺産登録の理由となった特徴が失われる程度まで資産が劣化し、必要な是正措置も実施されておらず、加えて、資産範囲内でのサッカースタジアム新設の認可などによりさらにOUVが劣化し失われていく脅威が増大していることから世界遺産一覧表からの削除が勧告されていた。勧告を支持する意見と締約国に猶予を与える意見に分かれたものの投票の末、削除が決定された。
- 我が国の世界文化遺産としては保全状況審査の対象となった案件は以下の通り。
 - ル・コルビュジエの建築作品（「国立西洋美術館」が構成資産の一つ）
ベルギー及びインドに所在する構成資産について具体の指摘がなされるとともに、2022年12月1日までに報告書の提出を求める決議が採択された。

- 琉球王国のグスク及び関連資産群
被害状況や復旧状況などを確認するためにユネスコ・イコモス及びイクロムの専門家派遣を受け入れること、保全状況や復旧の取組の実施状況に関する報告書を2022年12月1日までに提出することなどを求める決議が採択された。
- 明治日本の産業革命遺産
我が国が多く約束を満たし、また世界遺産委員会の関連決議の多くの側面を遵守していることに満足して留意しつつも、関連決議を未だ十分には実施していないことを強く残念に思うとし、保全状況と本決議における要請の履行状況に関する報告書を2022年12月1日までに提出するよう求める決議が採択された。

(3) 危機遺産一覧表の更新

世界遺産一覧表記載に係る審査及び保全状況に係る審査における審議の結果、1件の資産が新たに危機遺産一覧表に追加され、1件の資産が解除された。

この結果、危機遺産は52件（文化遺産36件、自然遺産16件）となった。

※危機遺産一覧表に追加された資産（1件） <資産名称は仮訳>

- ロシア・モンタナ鉱山景観（ルーマニア、記載とともに危機遺産登録）

※危機遺産一覧表から解除された資産（1件） <資産名称は仮訳>

- サロンガ国立公園（コンゴ民主共和国、自然）

(4) 第3期定期報告の進捗

アラブ地域の第三期定期報告について取りまとめられた。アジア太平洋地域の第三期定期報告は2021年7月に提出済。

(5) 推薦及び審査の在り方等に関する議論

本審査に先立って簡素な形式により潜在的OUVの有無等を書面審査で評価する「事前評価」(preliminary assessment) について、主に以下の事項を含むアドホックワーキンググループの勧告が支持された。

- 遅くとも正式版推薦書提出の1年前には完了するべき
- 申請する資産は、申請の1年前には暫定一覧表に記載されるべき
- 他国との対立を避けるため、推薦前に建設的対話を行うことを締約国に推奨すべき
- 2023年9月15日を最初の提出締切とし、2027年審議案件まではこれまでと同様、「事前評価」を経ずに審査を受けることも可能とするべき
- 1カ国につき1件/年とすること

(6) 第45回世界遺産委員会について

第45回世界遺産委員会は、2022年6月19日～30日（25日は休み）にカザン（ロシア）で開催予定。

NO.	国名	仮訳 遺産名	種別	勧告	決議	備考(過去の審議結果等)
1	エチオピア	ホルカ・ソフ・ウマル:自然及び文化遺産(ソフ・ウマル:神秘の洞窟群) Holqa Sof Umar: Natural and Cultural Heritage (Sof Umar: Caves of Mystery)	複合	N	W	
2	サウジアラビア	ヒマ・ナジュランの文化的岩絵群 Cultural Rock Arts in Himá Najrān	文化	R	I	
3	オーストリア、ベルギー、チェコ、フランス、ドイツ、イタリア、英国	ヨーロッパの大温泉保養地群 The Great Spas of Europe ※英国の「バース市街」は評価基準(i)(ii)(iv)に基づいて1987年に世界遺産一覧表に記載されている。	文化	I	I	2015年、2016年情報照会
4	フランス	コルドゥアン灯台 Cordouan Lighthouse	文化	I	I	
5	ドイツ	ダルムシュタットのマチルダの丘 Mathildenhöhe Darmstadt	文化	R	I	
6	ギリシャ	スピナロンガの要塞 Fortress of Spinalonga	文化	N	W	
7	イタリア	パドヴァ・ウルブス・ピクター・ジョットのスクロヴェーニ礼拝堂とパドヴァの14世紀フレスコ画作品群 Padova Urbs picta, Giotto's Scrovegni Chapel and Padua's fourteenth-century fresco cycles	文化	I	I	
8	中国	泉州:中国宋・元の世界のエンポリウム Quanzhou: Emporium of the World in Song-Yuan China	文化	I	I	2018年情報照会
9	インド	光り輝くカーティヤ朝の寺院群と玄閣建築群-テランガナー州、ジャヤシャンカール・ブールバハリ地区バランベットのル ドreshwara (Ramappa) Temple, Palampet, Jayashankar Bhupalpally District, Telangana State	文化	D	I	2018年不完全 (incomplete) 2019年推薦枠超過で審議されず
10	イラン	イラン縦貫鉄道 Trans-Iranian Railway	文化	D	I	1983年記載延期 危機遺産リストへの掲載見送り
11	モンゴル	鹿石と関連遺跡群、青銅器時代文化の中心 Deer Stone Monuments and Related Sites, the Heart of Bronze Age Culture	文化	R	R	2017年事前取下げ
12	スペイン	プラド通りとブエン・レティエロ、芸術と科学の景観 Paseo del Prado and Buen Retiro, a landscape of Arts and Sciences	文化	D	I	
13	トルコ	アルスランテペの墳丘 Arslantepe Mound	文化	R	I	
14	オランダ	オランダの水理ディフェンス・ライン群(1996年に評価基準(ii)(iv)(v)に基づいて記載された「アムステルダム のディフェンス・ライン」の拡張案) Dutch Water Defence Lines [extension of "Defence Line of Amsterdam", inscribed in 1996, criteria (ii)(iv)(v)]	文化	R	OK	
15	オーストリア、ドイツ、ハンガリー、スロバキア	ローマ帝国の国境線:ドナウ川のリメス(西側部分) Frontiers of the Roman Empire - The Danube Limes (Western Segment)	文化	I	I	2019年情報照会 ハンガリーのみ取下げ
16	ベルギー、オランダ	慈悲の居留地 Colonies of Benevolence	文化	I	I	2018年情報照会
17	ルーマニア	ロシヤ・モンタナ鉱山景観 Roşia Montană Mining Landscape	文化	I	I	危機遺産追加の勧告→決議 2018年情報照会
18	日本	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 Amami-Oshima Island, Tokunoshima Island, Northern part of Okinawa Island, and Iriomote Island	自然	I	I	
19	韓国	ゲボル(韓国の干潟) Getbol, Korean Tidal Flat	自然	D	I	
20	タイ	ケーンクラチャン森林保護区群 Kaeng Krachan Forest Complex	自然	D	I	
21	ジョージア	コルキスの雨林・湿地群 Colchic Rainforests and Wetlands	自然	I	I	
22	スロベニア	古典的カルスト Classical Karst	自然	N	W	
23	ブラジル	ロベルト・バル・マルクス関連サイト Sítio Roberto Burle Marx	文化	I	I	1997年情報照会
24	ドミニカ共和国	ライザベラの歴史・考古遺跡 Historical and Archaeological Site of La Isabela	文化	N	W	2016年事前取下げ
25	ペルー	チャンキョーヨの太陽観測所と儀礼の中心地 Chankillo Solar Observatory and ceremonial center	文化	I	I	2018年に推薦書が「不完全」とされた資産
26	ウルグアイ	技士エラディオ・ディエスの作品:アトランティダ教会 The work of engineer Eladio Dieste: Church of Atlántida	文化	I	I	
27	コートジボワール	コートジボワール北部のスーダン様式のモスク群 Sudanese style mosques in northern Côte d'Ivoire	文化	D	I	
28	インド	ドーラヴィラ:ハラッパーの都市 Dholavira: A Harappan City	文化	I	I	
29	イラン	ハウラン/ウラマナットの文化的景観 Cultural Landscape of Hawraman/Uramanat	文化	I	I	2016年事前取下げ
30	日本	北海道・北東北の縄文遺跡群 Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan	文化	I	I	
31	ヨルダン	アッ=サルト:寛容と都市の款待の場 As-Salt The Place of Tolerance and Urban Hospitality	文化	I	I	2017年記載延期
32	フランス	ニース、リヴィエラツーリズムの中心 Nice, capital of Riviera tourism	文化	R	I	
33	ドイツ	SHUM、シュバイアー、ヴォルムス、マインツのサイト SHUM Sites of Speyer, Worms and Mainz	文化	I	I	
34	ドイツ/オランダ	ローマ帝国の国境線:低地ドイツのリメス Frontiers of the Roman Empire - The Lower German Limes	文化	I	I	
35	イタリア	ポローニャのポルチコ The Porticoes of Bologna	文化	D	I	2017年、2018年に推薦書が「不完全」とされた資産
36	ラトビア	グロピナの考古遺跡群 Grobipa archaeological ensemble	文化	N	W	2019年記載延期「北ヨーロッパのヴァイキング時代の遺跡群(ラトビア他4カ国共同推薦)」の構成資産
37	チリ	アリカ・イ・リナコータ州のチンチョロ文化の集落と人工的なミイラ Settlement and Artificial Mummification of the Chinchorro Culture in the Arica and Parinacota Region	文化	R	I	
38	メキシコ	フランシスコ会のトラスカラの聖母被昇天の修道院と大聖堂群 ([「ポポカテトル山脈の16世紀初頭の修道院群」(1994年登録、評価基準(ii)(iv)の拡張) Franciscan Ensemble of the Monastery and Cathedral of Our Lady of the Assumption of Tlaxcala [extension of "Earliest 16th-Century Monasteries on the Slopes of Popocatepetl", inscribed in 1994, criteria (ii)(iv)]	文化	OK	OK	
39	ポーランド	グダニスク造船所:「連帯」の誕生地と欧州の鉄のカーテン喪失のシンボル Gdańsk Shipyard - the birthplace of "Solidarity" and the symbol of the Fall of the Iron Curtain in Europe	文化	N	審議延期 (無期限)	1998年取下げ、2005年不記載延期を受け取下げ
40	ロシア	オネガ湖と白海のペトログリフ(岩面彫刻) Petroglyphs of the Lake Onega and the White Sea	文化	R	I	
41	スロベニア	リュブリャナのヨゼ・プレチニクの作品—人間が中心の都市デザイン— The works of Jože Plečnik in Ljubljana - Human Centred Urban Design	文化	I	I	
42	スペイン	リベイヤ・サクラ Ribeira Sacra	文化	N	W	
43	英国	ウェールズ北西の粘土板の景観 The Slate Landscape of Northwest Wales	文化	I	I	
44	ガボン	イヴインド国立公園 Ivindo National Park	自然	R	I	
45	ボスニア・ヘルツェゴビナ、チェコ、フランス、イタリア、モンテネグロ、北マケドニア、ポーランド、セルビア、スロバキア、スイス	カルパティア山脈とヨーロッパ各地の古代及び原生ブナ林 Ancient and Primeval Beech Forests of the Carpathians and Other Regions of Europe [extension of "Ancient and Primeval Beech Forests of the Carpathians and Other Regions of Europe"]	自然	OK	OK	

※凡例 【I】記載(Inscription)、【R】情報照会(Referral)、【D】記載延期(Deferral)、【N】不記載(Not to inscribe)、【OK】拡張承認(Approve an extension)、【NA】不承認(拡張)(Not to Approve)、【W】取下げ(Withdraw)

第44回世界遺産委員会拡大大会合における推薦案件に係る審議結果概要等

種 別	第44回世界遺産委員会 における新規記載件数	世界遺産一覧表記載資産数 2021(令和3)年7月31日現在
文化遺産	29	897
複合遺産	0	39
自然遺産	5	218
合 計	34	1,154

	諮問機関勧告	世界遺産委員会決議
記 載 (Inscription)	20	34
情報照会 (Referral)	9	1
記載延期 (Deferral)	7	0
不記載 (Not to inscribe)	7	0
拡張承認 (Approve an	2	3
その他 (審議延期/審議中断)	0	1
合 計	45	39
取下げ (Withdraw)	1	6

「北海道・北東北の縄文遺跡群」にかかる決議概要

(1) 記載の可否と評価基準

- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」を、評価基準(iii)及び(v)に基づいて世界遺産一覧表に記載する。

	評価基準
iii	本資産は、先史時代における農耕を伴わない定住社会及び複雑な精神文化を示している。
v	本資産は、定住社会の発展段階や様々な環境変化への適応を示している。

(2) 追加的勧告

- 締約国が以下を考慮することを併せて勧告する。
- a) 現状で民間所有となっている土地について、公有化を進めること
 - b) 不適切な構造物について、撤去又は影響の軽減を図ること
 - c) 考古学的記録及び出土遺物に関する情報を拡充すること（発掘記録、遺物の目録化、調査報告書など）
 - d) 『作業指針』パラグラフ 40 及び 117*に示す開かれた遺産管理の精神に基づいて、資産の保存・管理にまだ関わっていない関係者の参画を促すこと
 - e) いずれの構成資産についても、資産範囲、緩衝地帯の範囲、(特別)史跡の指定範囲、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲を示した地図を提供すること

1. 概要

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の考古遺跡で構成される。北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく示しており、農耕以前における人類の生活の在り方と、精緻で複雑な精神文化を顕著に示す物証である。世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスから世界遺産一覧表に「記載」することが適当であるとの勧告がなされ、令和3年7月27日、世界遺産委員会において世界遺産一覧表への記載が決定された。

2. 構成資産

○北海道

かきのしまいせき きたこがねかいづか おおふねいせき
 垣ノ島遺跡、北黄金貝塚、大船遺跡、
 いりえかいづか たかさごかいづか しゅうていぼぐん
 入江貝塚、高砂貝塚、キウス周堤墓群

○青森県

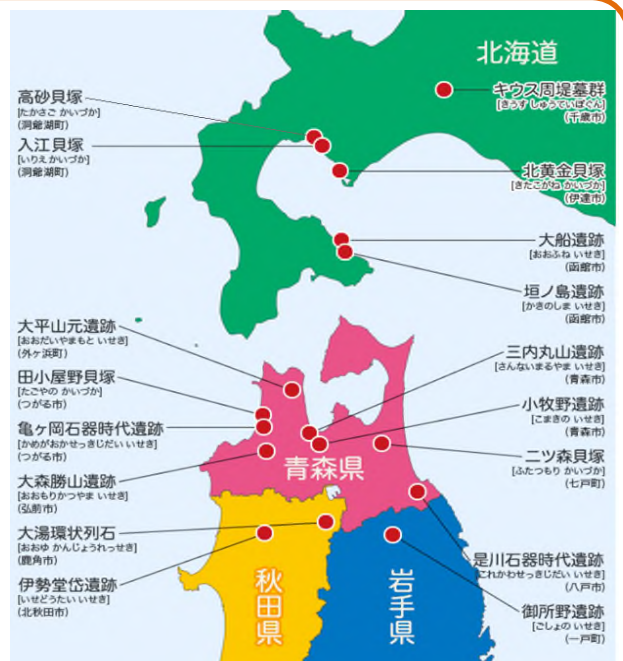
おおだいやまもといせき たごやのかいづか さんないまるやまいせき
 大平山元遺跡、田小屋野貝塚、三内丸山遺跡、
 ふたつもりかいづか こまきのいせき おおもりかつやまいせき
 ニツ森貝塚、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、
 かめがおかせつきじ だいいせき これかわせつきじ だいいせき
 亀ヶ岡石器時代遺跡、是川石器時代遺跡

○岩手県

ごしょのいせき
 御所野遺跡

○秋田県

いせどうたいいせき おおゆかんじょうれつせき
 伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石



三内丸山遺跡



大船遺跡



御所野遺跡



大湯環状列石

3. これまでの経緯と今後のスケジュール(見込み)

2009年	暫定一覧表記載
2019年 7月30日	文化審議会において、2019年度推薦候補に選定
2019年 9月23日	ユネスコ世界遺産センターへ暫定版推薦書を提出
2020年 1月16日	正式版推薦書を提出（文化審議会、世界遺産条約関係省庁連絡会議（外務省）、閣議了解を経て決定）
2020年 夏～冬頃	イコモスによる審査（現地調査と書類審査）
2021年 5月26日	イコモス勧告（記載）
2021年 7月27日	世界遺産一覧表に記載

世界遺産について

参考 5

1. 世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）

(1) 条約の目的

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること。

(2) 経緯

昭和47（1972）年 第17回ユネスコ総会において採択
 昭和50（1975）年 条約発効
 平成4（1992）年 我が国において条約締結のための国会承認及び条約発効
 令和3（2021）年 7月現在で締結国数194カ国

2. 世界遺産一覧表への記載プロセス

- ① 各締約国は、世界遺産一覧表への記載推薦の候補を記載した「暫定一覧表」を提出する。
- ② 各締約国は、「暫定一覧表」の記載物件のうち、「世界遺産一覧表」に記載する準備が整ったものを世界遺産委員会へ推薦する。これに対し、世界遺産委員会が、「世界遺産一覧表」への記載の可否を決定する。

3. 世界遺産の総数

令和3年7月現在で 1, 154件（文化遺産897件、自然遺産218件、複合遺産39件）

4. 我が国の世界遺産一覧表記載物件（文化遺産20件、自然遺産5件）

記載物件名	所在地	暫定一覧表記載年	世界遺産一覧表推薦年	世界遺産一覧表記載年	区分
1 法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	平成4年	平成4年	平成5年12月	文化
2 姫路城	兵庫県	〃	〃	〃	文化
3 屋久島	鹿児島県	〃	〃	〃	自然
4 白神山地	青森県、秋田県	〃	〃	〃	自然
5 古都京都の文化財 （京都市、宇治市、大津市）	京都府、滋賀県	〃	平成5年	平成6年12月	文化
6 白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県、富山県	〃	平成6年	平成7年12月	文化
7 原爆ドーム	広島県	平成7年	平成7年	平成8年12月	文化
8 厳島神社	広島県	平成4年	〃	〃	文化
9 古都奈良の文化財	奈良県	〃	平成9年	平成10年12月	文化
10 日光の社寺	栃木県	〃	平成10年	平成11年12月	文化
11 琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	〃	平成11年	平成12年12月	文化
12 紀伊山地の霊場と参詣道	三重県、奈良県、和歌山県	平成13年	平成15年1月	平成16年7月	文化
13 知床	北海道	平成16年	平成16年1月	平成17年7月	自然
14 石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	平成13年	平成18年1月	平成19年7月	文化
15 小笠原諸島	東京都	平成19年	平成22年1月	平成23年6月	自然
16 平泉-仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-	岩手県	平成13年	平成18年12月 平成22年1月	平成23年6月	文化
17 富士山-信仰の対象と芸術の源泉	山梨県、静岡県	平成19年	平成24年1月	平成25年6月	文化
18 富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	平成19年	平成25年1月	平成26年6月	文化
19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県・岩手県・静岡県	平成21年	平成26年1月	平成27年7月	文化
20 ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献	東京都（他 フランス、ドイツ、スイス、ベルギー、アルゼンチン、インド）	平成19年	平成27年1月	平成28年7月	文化
21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	平成21年	平成28年1月	平成29年7月	文化
22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県、熊本県	平成19年	平成29年2月	平成30年6月	文化
23 百舌鳥・古市古墳群 - 古代日本の墳墓群 -	大阪府	平成22年	平成30年1月	令和元年7月	文化
24 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県・沖縄県	平成28年	平成31年2月	令和3年7月	自然
25 北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道・青森県・岩手県・秋田県	平成21年	令和2年1月	令和3年7月	文化

5. 我が国の暫定一覧表記載物件（文化遺産5件、自然遺産0件）

[平成4年]

- ① 「古都鎌倉の寺院・神社ほか」（神奈川県）
- ② 「彦根城」（滋賀県）

[平成19年]

- ③ 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」（奈良県）

[平成22年]

- ④ 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」（新潟県）

[平成24年]

- ⑤ 「平泉-仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-（拡張）」（岩手県）